

今月の安全運転管理

年度末 心整え 安全運転

①交差点関連の事故防止の指導

- 「横断歩道は歩行者優先」を徹底させよう
- 確実な一時停止を心掛けよう

②車両管理の徹底

- 車両の鍵は厳重に管理を!



思いやりの気持ちを持って
歩行者優先を意識付けよう

愛知県警察の統計によると、三月は交差点死亡事故の件数が最も多い月です。横断歩行者妨害違反が原因とされる事故の割合も少なくありません。そこで、「横断歩道は歩行者優先」であることを改めて指導してください。

横断歩道では、横断する歩行者がいけないことが明らかの場合を除き、横断歩道の手前で停止できるように速度を落として進行しなければなりません。そして、横断しようとする歩行者がいるときは、横断歩道の手前で一時停止をして、歩行者に道を譲らなければなりません。こうしたルールを守らなかった場合は、罰則等が科せられます。

また、横断歩道とその手前三十メートル以内の場所では、追越しも追抜きも禁止されていることも周知しましょう。

一時停止と安全確認は
セットです

交差点では一時不停止による事故も多発しています。運転者の中には、一時停止標識のある交差点に差しかけたとき、車を減速させただけで二時停止をしたことと思って通過する人がいます。

確実な一時停止は、車を完全に停止させ、左右の安全確認をするまでがセットです。二時停止をしたつもりのようなあいまいな運転をしないよう指導してください。また、見通しの悪い交差点では、一時停止線の直前で停止して安全確認の後、左右が見通せる位置まで徐行で進んで再度停止し、左右の安全を確認して交差点を通過することを習慣づけさせましょう。

車両管理を厳重にして
盗難防止措置をとろう

車両の盗難件数は、愛知県が

全国でワースト四位です(令和元年中)。盗難された車が交通事故を起こした場合、その車の所有者が責任を負う可能性があります。たとえば、誰もが入りできる駐車場に施錠もせず、鍵をサンバイザーに挟んでいた状態で放置していた車を盗まれ、その後事故が発生した事例では、車の所有者の損害賠償責任を求めて裁判が行われています。

従業員が起こした事故でなくとも、盗難防止の措置をとらなかったことが問題となったのです。

車両から離れるときは確実にドアをロックするとともに、鍵は施錠設備のある保管庫に入れておけるなど厳重な管理を徹底してください。また、ナンバープレート盗難防止ネジやカーセキュリティー等で盗難防止対策の強化も検討しましょう。